

令和3年度 後志教育研修センター 調査研究事業報告会

学習指導調査研究委員会



令和4年1月12日

於：後志教育研修センター

本報告の骨子

I. 研究の概要

II. 研究の柱とその内容

III. 研究の成果と課題

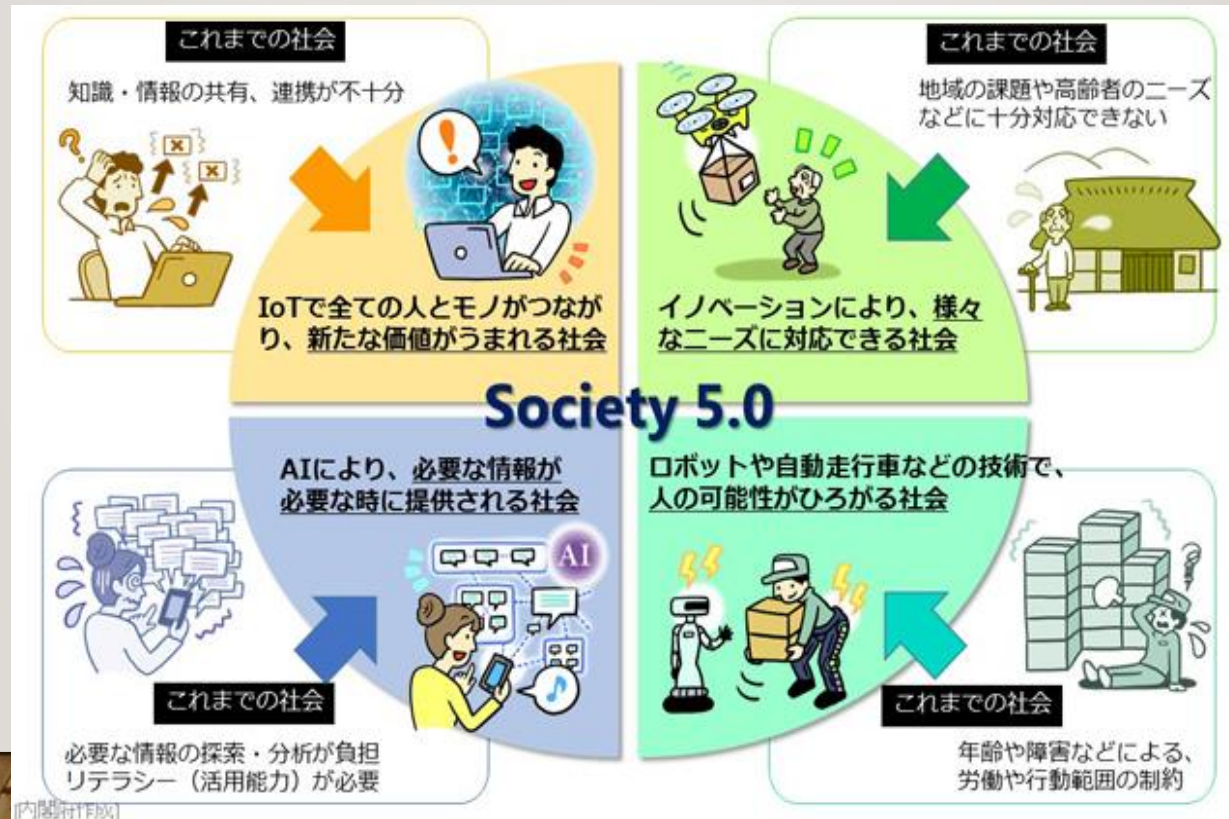
I. 研究の概要

(1) 主題設定に関わる社会的背景

(2) 研究主題と研究の方向性

(1) 主題設定に関わる社会的背景

① 子供たちの生きる社会



(1) 主題設定に関わる社会的背景

② 求められる「生きる力」

生 か る 力

何を理解しているか, 何ができるか
(知識・技能)

理解していること・できることをどう使うか
(思考力・判断力・表現力)

どのように社会・世界と関わり, よりよい人生を送るか
(学びに向かう力・人間性)

(1) 主題設定に関わる社会的背景

③ 「学びに向かう力」とは



(1) 主題設定に関わる社会的背景

④ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて

主体的・対話的で
深い学びの
実現

+

教科等の特質

+

児童生徒の実態

+

授業で身に付ける
べき学習内容

(1) 主題設定に関わる社会的背景

⑤ 指導と評価の一体化

授業者

学習者

適切な場面や方法で評価

授
業

児童生徒の成果を
的確に捉える。

自分自身での
振り返り

授業改善

次の学習へ

(2) 研究主題と研究の方向性

将来，成人した児童生徒が未来社会を力強く生き抜いていくためには，

学びに向かう力

未来を切り拓いていく力



質の高い授業の実践が不可欠

(2) 研究主題と研究の方向性

授業力の向上

と

校内研究の活性化

～学びに向かう力の育成を通して～

- ・ **学びに向かう力を育成するための授業改善**
- ・ **実践的指導力の向上を図るための教職員研修の工夫・改善**

Ⅱ. 研究の柱とその内容

(1) 研究の柱

(2) 1年次の成果と課題

(3) 今年度の研修講座について

(4) 検証授業について

(5) 指導案バンクの作成について

(1)研究の柱について

授業力の向上

校内研修の活性化

検証授業

①校内研究の推進
②学習指導（授業づくり、授業改善）

研修講座

しりべし
指導案バンク

(2) 1年次の成果と課題

【成果】

<研修講座>

- ・ 授業改善の視点を整理し、学習過程や授業のポイントについてまとめた。
- ・ 担当所員実践から具体例を提示できた。
- ・ 「ミニ研修のパッケージ化」や「演習事例」を紹介することができた。

<検証授業>

- ・ ビデオによる事後検証を行うことができた。

(2) 1年次の成果と課題

【課題】

- ・ コロナウイルス感染症の蔓延の影響
→ 3年次計画だった研究を4年次計画に変更。
→ 資料配付による講座となってしまった。
- ・ 「管内連携を目指した指導案バンク」の作成における活動

この状況の中で、どのように後志の教育に貢献できるか。

①6月23日 研修講座「学習指導」(授業づくり)

『教師も子どもも明日の授業が楽しみになる 1単位時間の授業づくりについて』

資質・能力を身につけさせるために...
私たち教師は、日々の授業づくりで、こんなことを願っているはず。

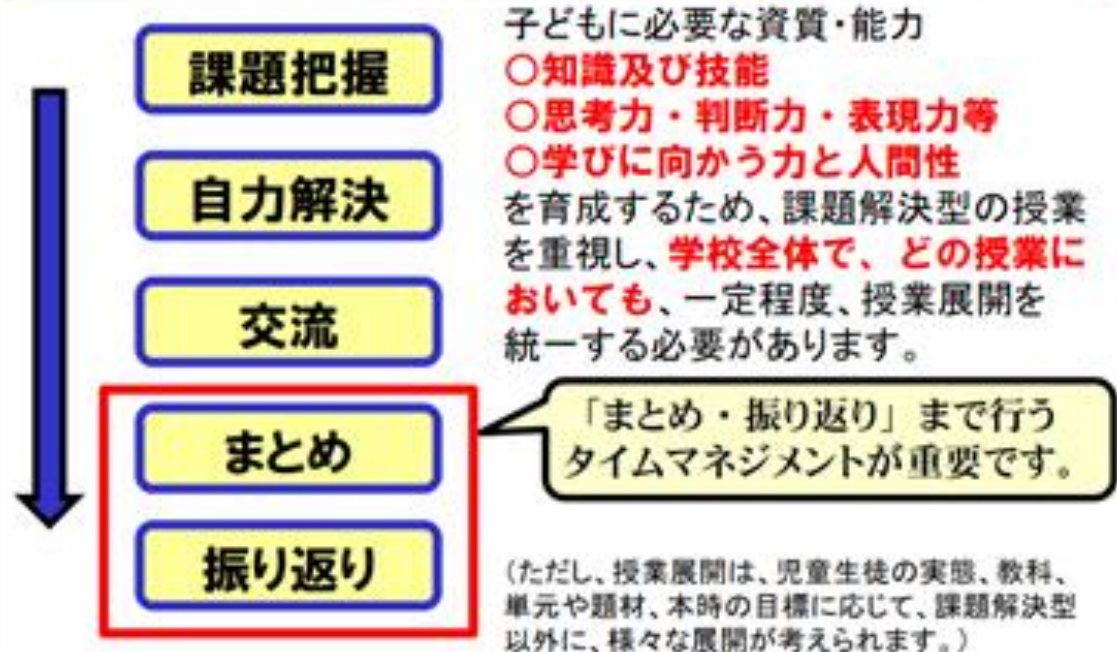
- 子どもが自らの意思で学ぶことができるように。
=主体的な学び
- 子どもが考えを広げられるように。
=対話的な学び
- 子どもが考えを深められるように。
=深い学び

具現化!

学習過程を組み立て、
学習活動を用意する(位置づける)。

課題解決型の授業の重視

学校全体で統一!



①6月23日 研修講座「学習指導」(授業づくり)

課題 落ちや重なりがないように調べるには、どのような方法があるだろうか。

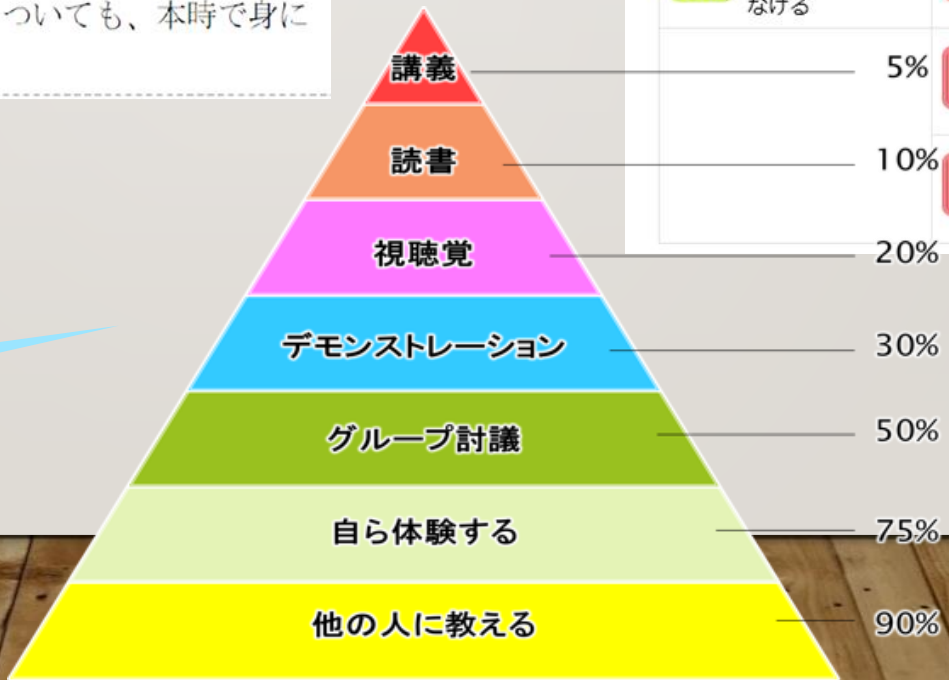
まとめ 落ちや重なりがないように調べるには、表や樹形図を使って、一つを固定して、順序よく調べる方法がある。

(課題解決の過程)

こうすると、子どもたちにとって、ねらいにある「落ちや重なりがない方法を考える」ことに取り組む授業である、ということが明らかになります。まとめについても、本時で身につけさせたいことが整理された文章になり、授業が完結します。

課題設定 「How課題」

ラーニング・ピラミッド



主体的な学び	対話的な学び	深い学び
興味や関心を高める	互いの考えを比較する	思考して問い続ける
見通しを持つ	多様な情報を収集する	知識・技能を習得する
自分と結び付ける	思考を表現に置き換える	知識・技能を活用する
粘り強く取り組む	多様な手段で説明する	自分の思いや考えと結び付ける
振り返って次へつなげる	先哲の考え方を手掛かりとする	知識や技能を概念化する
	共に考えを創り上げる	自分の考えを形成する
	協働して課題解決する	新たなものを創り上げる

「実現したい子供の姿」カード

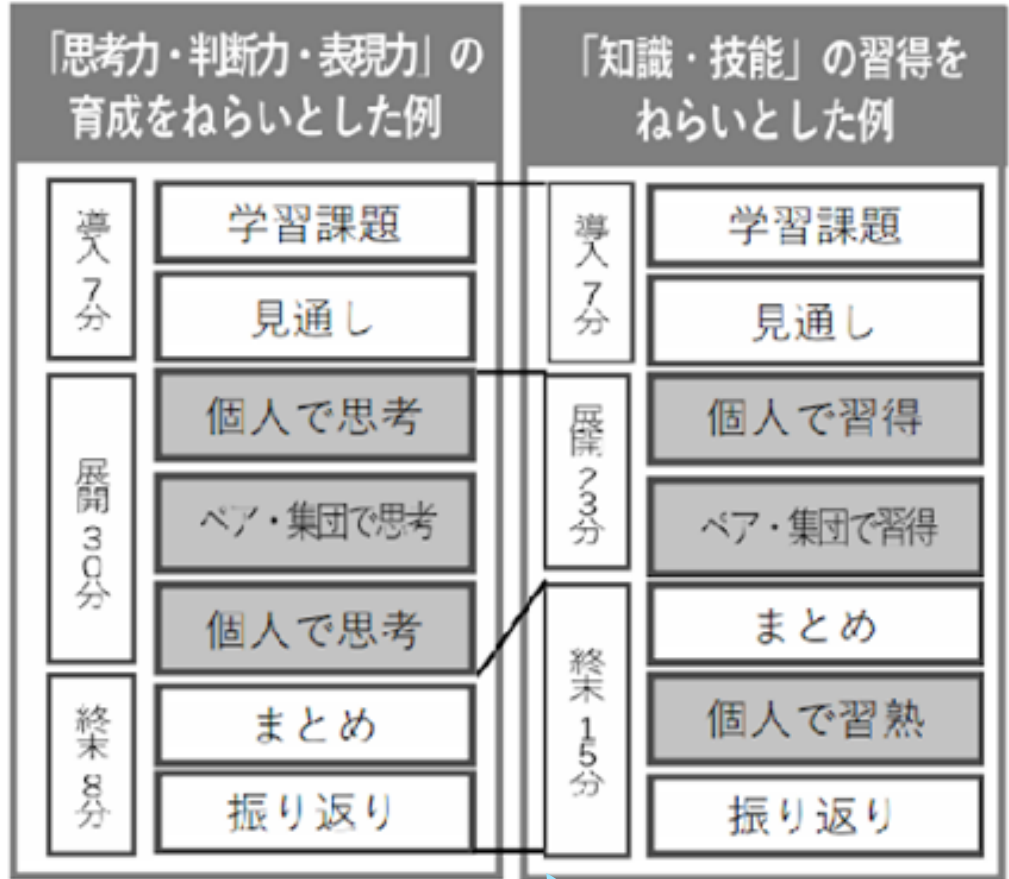
①6月23日 研修講座「学習指導」(授業づくり)

振り返りの充実

授業振り返りシート 【理科】

名前

授業日	この授業でわかったこと・身についたこと	先生からのコメント
	<p>(例)「〇〇〇〇〇〇から(をして)、△△△△△△△△△△ことがわかった。(実感できた。難しかった。わからなかった。)」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〇〇〇〇〇〇 には、どんな学習をしたかを書きましょう。 例えば…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・☆☆の実験をして、 ・実験の結果が・・・だったことから、 ・先生の説明を聞いて、 ・友達との話し合いから、 ・ノートに整理をして、 ・▽▽さんの発表を聞いて、 ・教科書の文章(図)から、 など。 </div> <p>(他には)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・□□□□□□□□□□□□□□と新たな疑問がわいた。 ・今後は(次は)、□□□□□□□□□□□□□□ができるようになりたい。 ・□□□□□□□□□□□□□□について、自分で調べてみたい。 	
5/7	<p>金属へのイオンのなりやすさについて学習して、今日は実験をした。自分たちで実験の手順も考えて、大丈夫か不安だったけれど先生に確認してまあまあ良かったので安心した。結果から分かることをふまえて考察、それが根拠など。理科でやることの手順が本当に分かりやすくて好きだと思った。</p>	<p style="color: red;">先生も(おぼろげの)取り組みで、どうかが不安でしたが、みんなのがんばりのおかげでとてもよい探究になりました。おかげさう。</p>
5/	<p>イオンのなりやすさの違いで、みんなで考察を交流できたおかげはリー層理解を深めることができた。また、ワークでも最後まで粘り強く交流して、</p>	



タイムマネジメント

①6月23日 研修講座「学習指導」(授業づくり)

6 1 単位時間の授業づくり(演習)

- 本時の目標を設定。
- 「B評価を設定」
- 「課題」「まとめ」を設定。
- 学習活動(自力解決・交流)と振り返りを位置づける

<ポイント>

- 本時で身につけさせたいことは何か。
- How課題。
- まとめは課題に正対しているかどうか。
- 学習活動は、主体的・対話的で深い学びかどうか。
- 振り返りまでできるかどうか。(タイムマネジメント)

○板書型指導案

板書 横型

本時の目標 実験を通して、鏡に映った像は、鏡の面で折り返したときに物体と重なる位置であることを理解させる。
 〓ものがどの方向からも見えるのは、ものの表面でいろいろな方向に乱反射しているからであることを理解させる。

「実際には存在しないものが、鏡の裏に見える。」
 〓どのようにして見えているのだろうか。

説明、下冊、P183

実験計画(今回はT...から説明)、結果はプリントに整理、TV映写

11 (単位時間) 板書型

課題 鏡でできる像が見えるしくみや、ものがどの方向からも見えるわけは、どのようにになっているのだろうか。

[考察]2で考えた光の道すじを発表しあう。(グループ全体)
 [説明]3の光の道すじの正確を確認。

自力解決 **交流**

<実験><結果>
 鏡で像ができるときの光の道すじ

<考察>
 〓鏡でできる像
 ・位置...鏡の面で折り返したときに、物体と重なる位置。
 ・見えるしくみ...鏡で反射した光が物体からまっすぐ進んできたように見える。
 〓ものがどの方向からも見えるわけ...ものの表面でいろいろな方向に乱反射しているから。(P184)

まとめ

[説明、下冊] P184「乱反射」
 [説明]日常生活との関連...
 P184 反射物のしくみ(鏡通づみ)
 反射物(実物)と虚像について説明。
 [補足説明] P185(おぼろげほど)光の道すじが目に届くように見えるわけ(関連付け)
 <振り返り>定義問題(ワーク)

B評価 光源からの光や物体で反射した光が目に入ることで物体が見えることを理解し、光の道すじや像の位置を説明している。【10-14】

	課題把握	課題追求	課題解決	振り返り
主体的な学び	1 学ぶことに興味・関心を持たせる	4 粘り強く取り組ませる		2 自己のキャリア形成の方向性と関連付けさせる
対話的な学び	3 見通しを持たせる	6 ペアや組で考えさせる 7 発表との対話から考えさせる 8 発問の考えから考えさせる	6 学級全体で考えさせる	5 自己の学習活動を振り返り、次につなげさせる
深い学び		9 多様な表現方法を用いて話し合わせる	10 知識を相互に関連付けてより深く理解させる	
		11 情報を整理して考えを形成させる 12 問題を思いだして解決策を考える		

はじめに

○今までの「いいクラス」では、学力は高まらない?!

○そもそも「いいクラス」

○「いいクラス」は、学力を伸ばすことができない。
の「いいクラス」は、学力を伸ばすことができない。

旧来の「いいクラス」に アクティブラーニングをプラス!

新しい学びに対応するための「アクティブラーニング」の在り方

「現在の自分のクラスのアセスメント」 「これから
の方策」について今日は考えましょう!

①今のあなたのクラスは……？

↑ 学習成果 ↓	自主性が低い学級集団	<ul style="list-style-type: none">□全体的に学級のルール・学習規律が守られず、不安定。□学び合う方法が定着していない□子どもどうしの交流は少ない。硬さがある。
	自主性が中程度の学級集団	<ul style="list-style-type: none">□ルールは定着されてきたが、大人が主導する子もいる。□自主性を活かして学習を活性化させるが、
	自主性が高い学級集団	<ul style="list-style-type: none">□ルールを守る□そのため、役割交代が得意。（リーダーが固定化しない。）
	自主性がとても高い学級集団	<ul style="list-style-type: none">□ほとんどの子どもたちが、ルールを守り、建設的な行動ができる。□学級全体に交流が広がる。

担当クラスの自主性をアセスメント！

③マイベストを積み重ねて！

自治性が低い学級集団	まだルールが未定着。この段階での実践は危険。教員が与えた一定の枠の中で課題に取り組ませる。 ☆一斉活動の中にグループ・ペア活動を一部取り入れる。 *教員はリーダーシップを発揮する。
自治性が中程度の学級集団	学習に必要なルールを意識させながら徐々に内在化させていく段階。子どもに委ねる部分を増やす。 ☆グループ・ペア活動を積極的に取り入れる。 *教員はファシリテーター的役割。
自治性が高い学級集団	学習に必要なルールがほぼ定着し、子どもが主体的に取り組めるようになっている。より学習を深められる段階。 ☆時に学習テーマも子どもに委ねてみる。(授業の延長線となる活動。社会のまとめなど) ☆ディープアクティブラーニングの段階。学習領域の内容だけでなく、個人の心情や価値観を交流していく。 *教員はアドバイザー的役割。

クラスに合った学び方をマッチング！

活動の際にはルールを守り、事後の振り返りを徹底する。

3の基本

担当クラスを正しくアセスメントし、「アクティブラーニング」を成立させる
学習規律を浸透させる方法を考えました！

河村茂雄「アクティブラーニングのゼロ段階」より一部引用

授業づくり

③学習者理解

①教材研究

②指導方法・
技術の習得

①理解

②計画

③実行

R

P

D

A

C

④評価

指導に生かす評価

机間巡指などで児童の様子を見取り、本時の課題を達成できるように、必要な手立てを考え、活かす。

記録に残す評価

指導した内容について児童生徒の達成状況を見取り、全員分記録にのこし、総括する評価。単元のどこで設定するか、精選する。

☆机間巡指の仕方
☆目線の配り方
☆毎日ノートに記録化

単元の中でどの時間を全員分記録に残す評価にするか、決めておく

②10月15日 研修講座「学習指導」（授業改善）

新学習指導要領で想定される学習過程

問題解決的な学習過程



主体的・対話的で
深い学びにおけた
授業改善の視点

大きな枠組みで捉え直す

新学習指導要領における
各教科の学習過程

国語	学習目的の理解 テーマの設定 話題選択	情報収集 表現 考えの形成・深化 構造と内容の把握・記録の整理・内容整理・精査解釈	他者への評価 他者からの評価 考えの形成 集団としての考えの形成	振り返り 次の学習活動への活用
社会	課題把握 動機付け 方向付け	課題追究 考察・構想	課題解決 まとめ	新たな課題 振り返り
算数	A1.日常生活や社会の問題を数理的に捉える A2.数学の事象における問題を数学的に捉えること	B.数学を活用した問題解決に向けて、構想見通しを立てる	C.焦点化した問題を解決する	D1.解決過程を振り返り、得られた結果を意味づけたり、活用したりする D2.解決過程を振り返るなどして概念を形成したり、体系化したりする
理科	課題の把握(発見) 事象に対する気付き 課題の設定	課題の探究(追究) 仮説の設定 検証計画の立案 観察実験の実施 結果の処理	課題の解決 考察・推論 表現・伝達	次の探究の過程
	課題把握	課題追究	課題解決	振り返り

②10月15日 研修講座「学習指導」(授業改善)

1 3の授業改善の視点

2 「主体的・対話的で深い学び」からみる授業改善の視点

主体的な学びに関する授業改善の視点

- 1 学ぶことに興味関心を持つ
- 2 自己のキャリア形成の方向性と関連付ける
- 3 見通しを持つ
- 4 粘り強く取り組む
- 5 自己の学習活動を振り返り次につなげる

2 「主体的・対話的で深い学び」からみる授業改善の視点

対話的な学びに関する授業改善の視点

- 6 子供同士の協働を手掛りに考える
- 6A ペアや班で考える
- 6B 学級全体で考える
- 7 教職員や地域の人との対話を手掛りに考える
- 8 先哲の考え方を手掛りに考える
- 9 多様な表現方法を用いて対話する

2 「主体的・対話的で深い学び」からみる授業改善の視点

深い学びに関する授業改善の視点

- 10 知識を相互に関連付けてより深く理解する
- 11 情報を精査して考えを形成する
- 12 問題を見いだして解決策を考える
- 13 思いや考えを基に創造する

	課題把握	課題追究	課題解決	振り返り	
主体的な学び	<p>1 学ぶことに興味・関心を持たせる</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 既習を出す <input type="checkbox"/> 「できない」を体験させる <input type="checkbox"/> 日常場面で出す <input type="checkbox"/> 実物を出す <input type="checkbox"/> 疑問を聞く、書かせる <input type="checkbox"/> 気付いたことを聞く <input type="checkbox"/> 前時のまとめを見直す 	<p>4 粘り強く取り組ませる</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 取り組み計画を立てさせる <input type="checkbox"/> 止まっている子に既習事項を示す <input type="checkbox"/> 止まっている子に友だちの考えを見せる <input type="checkbox"/> 試行錯誤の時間を設定する <input type="checkbox"/> 思考の道具・材料を用意する <input type="checkbox"/> 前回の失敗を振り返らせる 			<p>2・5 振り返りの具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ふりかえりの時間を作る <input type="checkbox"/> 学習して考えたこと <input type="checkbox"/> 自分の考えが変化したこと <input type="checkbox"/> わかった要因を <input type="checkbox"/> わかった場面を <input type="checkbox"/> これからやってみたいこと <input type="checkbox"/> 自分の生活と学んだことに関連
対話的な学び	<p>3 見通しを持たせる</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 課題を先生が出す <input type="checkbox"/> 子どもの疑問を教師が課題にする <input type="checkbox"/> 子どもに課題を考えさせる <input type="checkbox"/> 手順を示す <input type="checkbox"/> 具体的な方法を先生が出す <input type="checkbox"/> 具体的な方法を子どもから聞く <input type="checkbox"/> 簡易的にやらせてみる 	<p>6 ペアや班で考えさせる</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> まず自分の考えを書かせる <input type="checkbox"/> 時間を決める <input type="checkbox"/> 道具 (W・B付箋) を用意する <input type="checkbox"/> 何について話し合うか明確にする <input type="checkbox"/> 聞き手に感想を言わせる <input type="checkbox"/> 紙や黒板に書いて俯瞰させる <p>7 先生との対話から考えさせる</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 発問をいくつも用意しておく <p>8 先哲の考えから考えさせる</p>	<p>6 学級全体で考えさせる</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 発表の順番を決めておく <input type="checkbox"/> どの立場から指名するか決めておく <input type="checkbox"/> 話し合いの焦点は何か決めておく <input type="checkbox"/> 聞き手に質問や感想を聞く <input type="checkbox"/> ペア・グループの時間をとる <input type="checkbox"/> 話し合いを板書する <p>9 交流の表現方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 表現する時間を作る <input type="checkbox"/> どんな方法で表現するか決めてさせる。 <input type="checkbox"/> 他の人の表現方法と比較させてよりよく表現させる <input type="checkbox"/> 実物を操作して説明させる 		
深い学び	<p>11 情報を精査して考えさせる</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 何についてまとめるか確認する <input type="checkbox"/> 子どものカギとなるつぶやきを取り上げる <input type="checkbox"/> 解決の方法や手順を教える <input type="checkbox"/> イラスト・表など資料から考えさせる <input type="checkbox"/> 共通点や相違点を考えさせる <p>12 解決策を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 課題は何か考えさせる <input type="checkbox"/> 既習事項を見直させる <input type="checkbox"/> 子どもたち同士で小交流させる <input type="checkbox"/> ヒントをあげる <input type="checkbox"/> 一人の疑問を全体に伝える <input type="checkbox"/> 失敗の原因を考えさせる 		<p>10 全体交流 (深める)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 子どもの発言を取り上げる <input type="checkbox"/> わざと間違えた回答を出す <input type="checkbox"/> 全員が説明する場を作る <input type="checkbox"/> 自分の言葉でまとめさせる <input type="checkbox"/> 図や表を使わせる <input type="checkbox"/> 黒板に先生が考えを書く <input type="checkbox"/> 子どもに考えを書かせる <input type="checkbox"/> 友だちの考えを見て、改めて考えさせる時間を持つ <input type="checkbox"/> 友だちの考えをノートに書かせる <input type="checkbox"/> 他の問題を考えさせる 		

「学びの具体例」
～具体的な教師の手立て

②10月15日 研修講座「学習指導」(授業改善)

	課題把握	課題追進	
主 体 的 な 学 び	<p>1 学ぶことに興味・関心を持たせる</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 既習を出す <input type="checkbox"/> 「できない」を体験させる <input type="checkbox"/> 日常場面で出す <input type="checkbox"/> 実物を出す <input type="checkbox"/> 疑問を聞く、書かせる <input type="checkbox"/> 気付いたことを聞く <input type="checkbox"/> 前時のまとめを見直す 	<p>4 粘り強く取り組ませる</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 取り組む計画を立てさせる <input type="checkbox"/> 止まっている子に既習事項を示す <input type="checkbox"/> 止まっている子に友だちの考えを見せる <input type="checkbox"/> 試行錯誤の時間を設定する <input type="checkbox"/> 思考の道具・材料を用意する <input type="checkbox"/> 前回の失敗を振り返らせる 	<p>10 全体交流 (深める)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 子どもの発言を取り上げる <input type="checkbox"/> わざと間違えた回答を出す <input type="checkbox"/> 全員が説明する場を作る <input type="checkbox"/> 自分の言葉でまとめさせる <input type="checkbox"/> 図や表を使わせる <input type="checkbox"/> 黒板に先生が考えを書く <input type="checkbox"/> 子どもに考えを書かせる <input type="checkbox"/> 友だちの考えを見て、改めて考えさせる時間を持つ <input type="checkbox"/> 友だちの考えをノートに書かせる <input type="checkbox"/> 他の問題を考えさせる
	対 話 的 な 学 び	<p>3 見通しを持たせる</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 課題を先生が出す <input type="checkbox"/> 子どもの疑問を教師が課題にする <input type="checkbox"/> 子どもに課題を考えさせる <input type="checkbox"/> 手順を示す <input type="checkbox"/> 具体的な方法を先生が出す <input type="checkbox"/> 具体的な方法を子どもから聞く <input type="checkbox"/> 簡易的にやらせてみる 	

4 粘り強く取り組ませる

- 取り組む計画を立てさせる
- 止まっている子に既習事項を示す
- 止まっている子に友だちの考えを見せる
- 試行錯誤の時間を設定する
- 思考の道具・材料を用意する
- 前回の失敗を振り返らせる

10 全体交流 (深める)

- 子どもの発言を取り上げる
- わざと間違えた回答を出す
- 全員が説明する場を作る
- 自分の言葉でまとめさせる
- 図や表を使わせる
- 黒板に先生が考えを書く
- 子どもに考えを書かせる
- 友だちの考えを見て、改めて考えさせる時間を持つ
- 友だちの考えをノートに書かせる
- 他の問題を考えさせる

10 全体交流 (深める)

- 子どもの発言を取り上げる
- わざと間違えた回答を出す
- 全員が説明する場を作る
- 自分の言葉でまとめさせる
- 図や表を使わせる
- 黒板に先生が考えを書く
- 子どもに考えを書かせる
- 友だちの考えを見て、改めて考えさせる時間を持つ
- 友だちの考えをノートに書かせる
- 他の問題を考えさせる

②10月15日 研修講座「学習指導」(授業改善)

板書型指導案に
授業改善の視点を
組み込み
具体的な場面を
チェックリストに

課題追求
課題解決
に焦点化し
自分の改善点を
発見する

今日の目標

評価

	課題把握	課題追求	課題解決	振り返り
主体的な学び	1. 学ぶことに興味・関心を持たせる 2. 見通しを持たせる	4. 粘り強く取り組ませる	6. 学習全体で考えさせる	2. 振り返りの具体例 3. 学習して考えたこと 4. 自分の考えが変化したこと 5. わかった要因
対話的な学び	3. 見通しを持たせる 4. 課題を先生が出す 5. 子どもの疑問を教師が課題にする 6. 手帳を示す 7. 具体的な方法を先生が出す 8. 具体的な方法を子どもから聞く 9. 協力的にやらせてみる	6. ペアや班で考えさせる 7. 先生との対話から考えさせる 8. 先生から考えさせる 9. 3種類の表現方法を使い分けさせる	6. 学習全体で考えさせる 7. 発表の順番を決めておく 8. どの立場から指名するか決めておく 9. 話し合いの焦点は何か決めておく 10. 聞き手に質問や感想を聞く 11. ペア・グループの時間をとる 12. 話し合いを板書する	2. 5 振り返りの具体例 3. ふりかえりの時間を作る 4. 学習して考えたこと 5. 自分の考えが変化したこと 6. わかった要因
深い学び		1. 情報を精査して考えさせる 2. 何についてまとめるか確認する 3. 子どものカギとなるつぶやきを取り上げる 4. 解決の方法や手順を教える 5. イラスト・表など資料から考えさせる 6. 共通点や相違点を考えさせる	9. 交流の表現方法 10. 表現する時間を作る 11. どのような方法で表現するか決めておく 12. 他の人の表現方法と比較させてよりよく表現させる 13. 実物を操作して説明させる	10. 全体交流(深める) 11. 子どもの発言を取り上げる 12. わざと間違えた回答を出す 13. 全員が説明する場を作る 14. 自分の言葉でまとめさせる 15. 図や表を使わせる 16. 黒板に先生が考えを書く 17. 子どもに考えを書かせる 18. 友だちの考えを見て、改めて考えさせる時間を持つ 19. 友だちの考えをノートに書かせる 20. 他の問題を考えさせる

授業改善チェックリスト～全体交流編～

全体交流の第一声は… (初発問)

しゃべる(児童・教師)	書く(黒板・ノート)	要チェック
<input type="checkbox"/> 計画的に指名をしている	<input type="checkbox"/> 考えや意見の関係が見えるように板書を書いている	<input type="checkbox"/> 「いいですか」と聞いている
<input type="checkbox"/> 違う立場の意見を述べさせている	<input type="checkbox"/> 子どもの意見や考えのキーワードを黒板に書いている	<input type="checkbox"/> 子どもの発言を復唱している
<input type="checkbox"/> 聞き手に、質問や感想を述べさせている (問い返している)	<input type="checkbox"/> 図や表を使って黒板にまとめている	<input type="checkbox"/> 先生が考え方を説明している
<input type="checkbox"/> 話し合いの視点を示す・焦点化させる発問をしている	<input type="checkbox"/> 友だちの考えをノートに書かせている	<input type="checkbox"/> 子どもの発言を復唱している
<input type="checkbox"/> 理解を深めてほしい内容に対する子どもの発言を取り上げている	<input type="checkbox"/> 全員が説明する場、意見を出す場を作っている	
<input type="checkbox"/> 考えの理由を説明させている	<input type="checkbox"/> 友だちの考えを見て、改めて考えさせる(ノートに書いたり、ノートにまとめる)時間を持っている	
<input type="checkbox"/> 意見を言った児童に対してどうしてそう考えたのか問い返している		
<input type="checkbox"/> わざと間違えた回答を出している		
<input type="checkbox"/> 自分の言葉で発言やまとめを言わせている		
<input type="checkbox"/> ペアやグループの活動を価値づけた言葉を使っている		

それぞれの学びの具体例

	課題把握	課題追求	課題解決	振り返り
主体的な学び	1. 学ぶことに興味・関心を持たせる □ 既習を出す □ 「できない」を体験させる □ 日常場面で出す □ 実物を出す □ 疑問を聞く、書かせる □ 気付いたことを聞く □ 前時のまとめを見直す	4. 粘り強く取り組ませる □ 取り進む計画を立てさせる □ 止まっている子に既習事項を示す □ 止まっている子に友だちの考えを見せる □ 疑問解決の時間を設定する □ 見学の道具・材料を用意する □ 前回の失敗を振り返らせる	6. 学習全体で考えさせる □ 発表の順番を決めておく □ どの立場から指名するか決めておく □ 話し合いの焦点は何か決めておく □ 聞き手に質問や感想を聞く □ ペア・グループの時間をとる □ 話し合いを板書する	2・5 振り返りの具体例 □ ふりかえりの時間を作る □ 学習して考えたこと □ 自分の考えが変化したこと □ わかった要因
対話的な学び	3. 見通しを持たせる □ 課題を先生が出す □ 子どもの疑問を教師が課題にする □ 手帳を示す □ 具体的な方法を先生が出す □ 具体的な方法を子どもから聞く □ 協力的にやらせてみる	6. ペアや班で考えさせる □ まず自分の考えを書かせる □ 時間を決める □ 道具(8・9付箋)を用意する □ 何について話し合うか明確にする □ 聞き手に感想を書かせる □ 紙や黒板に書いて俯瞰させる	9. 交流の表現方法 □ 表現する時間を作る □ どのような方法で表現するか決めておく □ 他の人の表現方法と比較させてよりよく表現させる □ 実物を操作して説明させる	
深い学び		1. 情報を精査して考えさせる □ 何についてまとめるか確認する □ 子どものカギとなるつぶやきを取り上げる □ 解決の方法や手順を教える □ イラスト・表など資料から考えさせる □ 共通点や相違点を考えさせる	10. 全体交流(深める) □ 子ども発言を取り上げる □ わざと間違えた回答を出す □ 全員が説明する場を作る □ 自分の言葉でまとめさせる □ 図や表を使わせる □ 黒板に先生が考えを書く □ 子どもに考えを書かせる □ 友だちの考えを見て、改めて考えさせる時間を持つ □ 友だちの考えをノートに書かせる □ 他の問題を考えさせる	

授業改善チェックリスト～全体交流編～ 4/5 授業

全体交流の第一声は… 今日ブロックが正解だよ。 15:00 ~ 26.41

しゃべる(児童・教師)	書く(黒板・ノート)	要チェック
<input type="checkbox"/> 計画的に指名をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 考えや意見の関係が見えるように板書を書いている	<input type="checkbox"/> 「いいですか」と聞いている
<input type="checkbox"/> 違う立場の意見を述べさせている	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの意見や考えのキーワードを黒板に書いている	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの発言を復唱している ✓ 人数が15人 4+5+2+2+15
<input checked="" type="checkbox"/> 聞き手に、質問や感想を述べさせている (問い返している)	<input checked="" type="checkbox"/> 図や表を使って黒板にまとめている	<input type="checkbox"/> 先生が考え方を説明している
<input checked="" type="checkbox"/> 話し合いの視点を示す・焦点化させる発問をしている	<input type="checkbox"/> 友だちの考えをノートに書かせている	
<input checked="" type="checkbox"/> 理解を深めてほしい内容に対する子どもの発言を取り上げている	<input checked="" type="checkbox"/> 全員が説明する場、意見を出す場を作っている	どっちも17で3
<input type="checkbox"/> 考えの理由を説明させている	<input checked="" type="checkbox"/> 友だちの考えを見て、改めて考えさせる時間を持っている	
<input type="checkbox"/> 意見を言った児童に対してどうしてそう考えたのか問い返している		
<input type="checkbox"/> わざと間違えた回答を出している		
<input type="checkbox"/> 自分の言葉で発言やまとめを言わせている		
<input type="checkbox"/> ペアやグループの活動を価値づけた言葉を使っている		

活用例

②10月15日 研修講座「学習指導」(授業改善) 受講者からの声



【講座を受けて】

- 授業改善チェックリストをもちながら自分の授業を視聴することで、改善点が明確になった。
- 板書型指導案や授業改善チェックリストは、研修等で活用したいと思った。

自分の授業をチェック

○教師による復唱が多い！

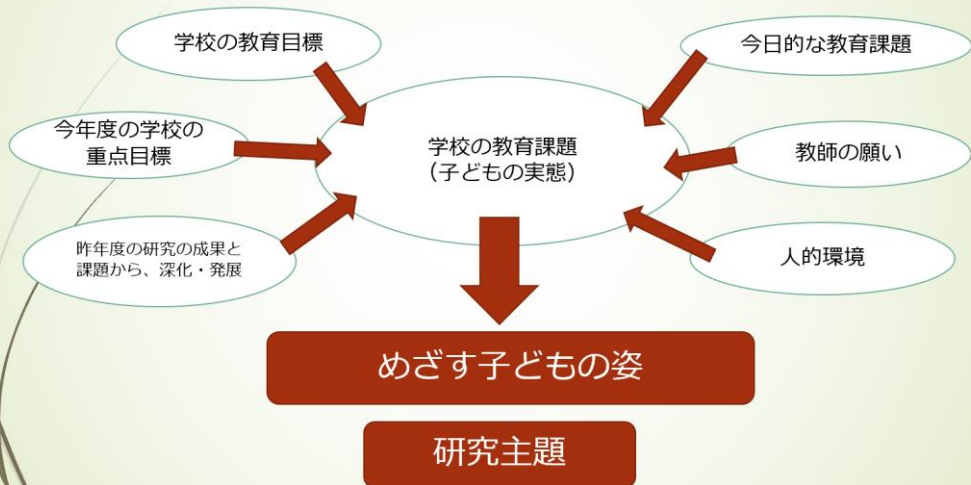
- つい自分が説明をしてしまう
- 子どもの考えを取り上げすぎ
- 言葉の足りない子についつけ足しをしてしまう
- 「それってこういうことかい？」など口に出てしまう

○子どもの言葉で！

- 発表できる子をどうやって作っていくか？
- もっと問い返しをして、深める時間をつくる必要性
- 生徒の考えをもっと引き出す

③ 6月2日 研修講座「校内研修」講義I

④ 研究主題、副題の設定



④ 研究主題、副題の設定

例①

主題

自分の考えを豊かに表現する子の育成

①目的

副題

～②国語科における③言語活動の指導の工夫・改善を通して～

②対象

③内容・方法

⑤ 研究仮説の設定

具体例

研究主題 自分の考えを豊かに表現する子の育成

～各教科における言語活動の指導の工夫を通して～

研究仮説例

交流の場面において、**場や範囲** **具体的な手立て**

ペアワークやグループワーク、全体交流などを効果的に位置づけることにより

集団の中で自分の考えや想いを話したり伝えたりすることができるようになるだろう。」

目指す姿、子ども像

⑥ 研究推進計画の作成について 作成の仕方

・P【計画】 D【実施】 C【点検】 A【改善】の

マネジメント・サイクルの視点を重視する。

3年計画の例②

学期	1年次 研究計画の構想と立案	2年次 実践研究の蓄積と検証	3年次 実践研究の検証と発展
1学期	◇研究課題の把握 ・保護者や教師へのアンケートによる把握 ・学力調査などによる子どもの実態把握	◇推進計画の見直し	◇推進計画の見直し
2学期	◇研究主題の設定 ・実態把握のまとめと分析 ◇研究仮説の設定 ◇研究内容の構想 ◇検証計画の樹立	◇研究仮説の修正 ・1年次の課題を踏まえた修正 ・(手立ての修正) ◇研究内容の修正 ・修正した仮説に基づき研究内容の具体化	◇研究内容の修正 ・2年次の課題を踏まえた研究内容の検討 ◇検証のための実践 ・公開研究会の実施
3学期	◇検証のための実践 ・低・中・高、ブロック毎の授業研究 ・全校での授業研究	◇検証のための実践 ・全校での授業公開 ◇研究結果の整理 ・授業記録による成果と課題の把握	◇研究結果の処理 ・研究紀要の作成 ◇研究全体のまとめ ・研究のまとめと整理
学年末	◇研究結果の整理 ・授業記録による成果と課題の把握 ◇初年度のまとめ (成果の発表)	◇2年次のまとめ ・学力調査による成果の把握	◇次の研究の方向性の確認

③ 6月2日 研修講座「校内研修」講義I

① 研究仮説の検証

研究仮説を具体化する。

仮説は正しかったのか
↓
工夫や手立てが効果的だったか
子どもの成長の役に立ったか

事前・事後調査
を活用する。
【方法】・質問紙（アンケート）法
・観察法（見とり）
・学力検査・テスト など

授業を通して、
データを収集する。

研究仮説の有効性を検証する。

② まとめ方と次年度へのつなげ方

なにをもって「成果」「課題」とするか

あらかじめ
考えておく！

「成果」「課題」を把握する方法（例）

- ・教師から見た子どもの様子（アンケートや交流など）
- ・討議による教師の指導方法の確認
- ・子どもに対する授業評価の結果

② まとめ方と次年度へのつなげ方

「課題」が見つかる

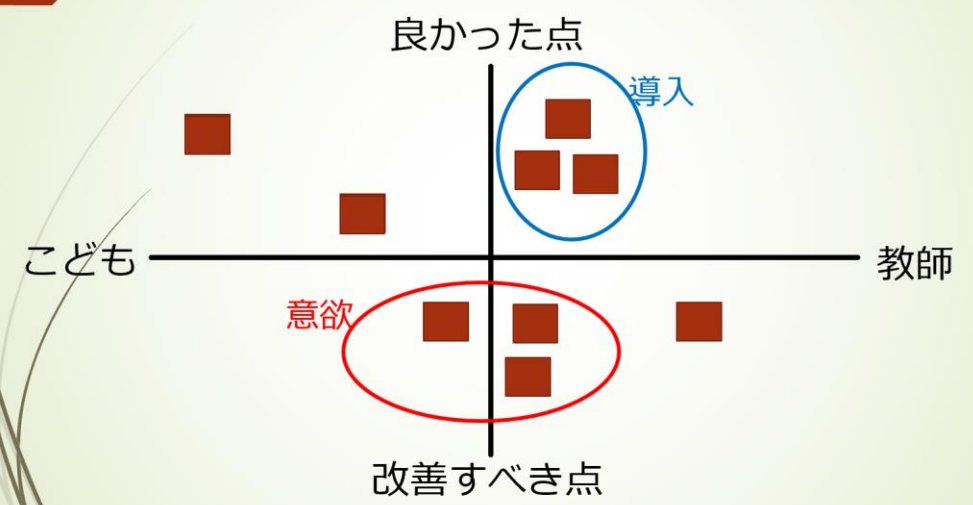
↓
「課題」を掘り下げて分析する

↓
改善策を考えて、次年度以降に実践する

↓
よりよい研究へ

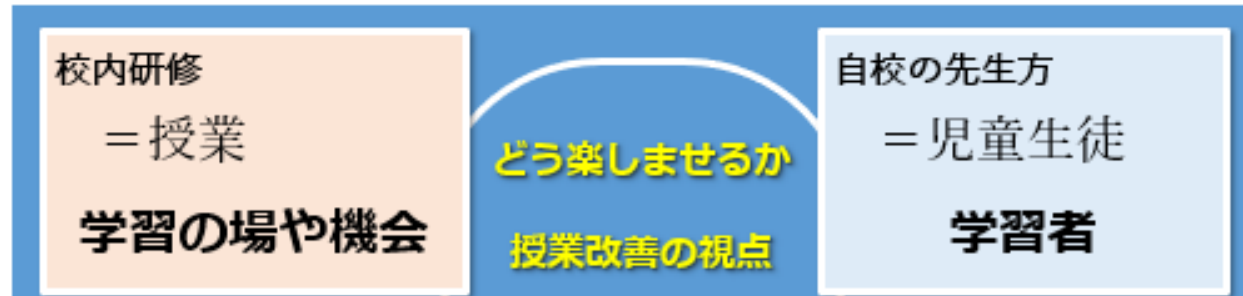
① 研究討議の方法

2軸型（+KJ法）例



③ 6月2日 研修講座「校内研修」講義Ⅱ

3) 教員の「学びに向かう力」は？



4) 教師の「学びに向かう力」を涵養する校内研修

校内研修活性化の条件整備

ノれる目的
経験豊富なベテラン

ムリのない日程
周到な計画

主題研究

特定の教科・テーマに沿った内容
学校課題の解決や理想の追求

ミニ研修

あらゆる教科・テーマが対象
身近な題材・タイムリーな話題
実態の交流や改善に即した内容

授業者感想等
小グループ協議
成果・課題・改善案検討
グループ間交流
全体交流
まとめ・ふり返し

板書等に
まとめる

45~60分程度

導入・説明
講義・演習等
まとめ・ふり返し

20~40分程度

③ 6月2日 研修講座「校内研修」講義Ⅱ

【講義型・教授型】

身近な方を講師として招く
スクールカウンセラー
学習支援員

自校の先生を講師とする
道徳推進教師
特別支援コーディネーター
ICT機器に詳しい先生
合唱指導に明るい先生

【話し合い型・全員参加型】

学級の実態や先生方の取組を交流する
学習規律 家庭学習 学級経営

動画で共有する
動画で授業研
NITS校内研修用動画の活用

体験型研修
～プレルポールをやってみよう～
～先生たちも収穫体験（ミニトマト）～

【講義型・教授型】



ミニ研④特別支援教育「ニーズ」に応える

9月26日(火)のミニ研修は、本校の特別支援コーディネーターで経験豊富な平岡先生に講師をお願いしました。[障がいのある子どもへの理解と支援]と題して、資料を提示してもらい、事例を紹介してもらいながら、様々な子どもの特性をふまえた支援方法の在り方について考える機会となりました。今回紹介してもらった事例は、自閉症・注意欠陥多動性障害(ADHD)・学習障がい(LD)の3つ。平岡先生が実際に推してきた子どもの事例も紹介してもらいながら、それぞれの特性や配慮すべきこと等について教えていただきました。



【話し合い型・全員参加型】



ミニ研③傾向をつかみ指導に生かそう

8月20日(火)には、4月に行った学力テストや全国学力学習状況調査、7月に行った児童への授業評価アンケートなどを用いて、仁木小児童の学力傾向の分析や2学期の授業のねらい設定を行いました。



全員で複数の資料を読み合い、分析したことで、仁木小児童の得意なこと・苦手なことがよく見えてきました。全体の傾向としては、

③ 6月2日(水) 研修講座「校内研修」講義Ⅲ・演習

校内研修にかかわる課題・悩みの交流

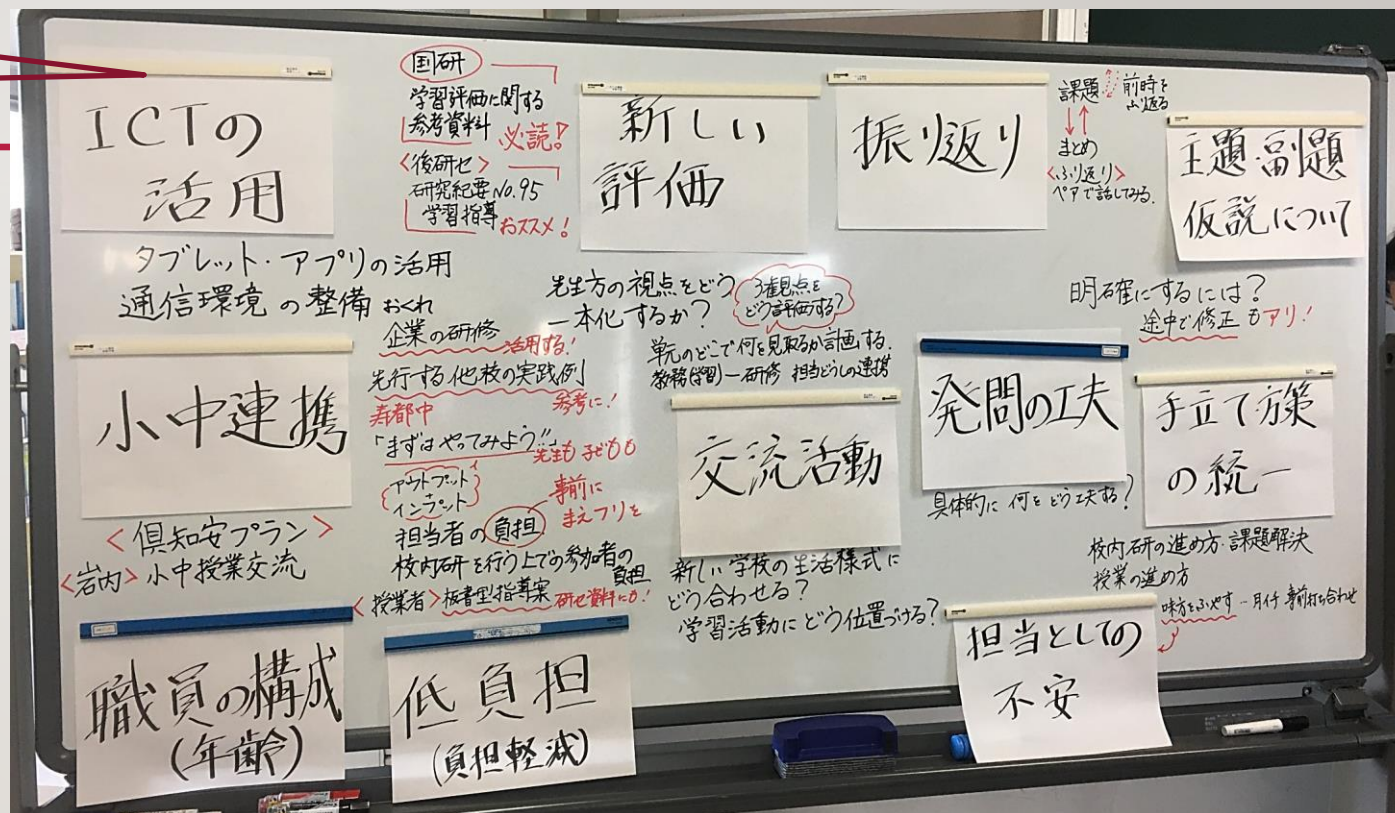
各学校から出された課題のテーマ分け

【校内研修に直接関わるもの】

- 主題・副題・仮説について
- 研修推進の手立て ○担当者としての不安
- 負担の軽減 ○職員の年齢構成

【授業等全般にも関わるもの】

- ICT(特にタブレット)の活用 ○小中連携 ○新しい評価(特に中学校)
- 授業での「振り返り」
- (コロナ禍における)交流活動



参加者から出された課題や悩みについて、他の参加者から「自分の職場ではこのように取り組んでいる」などの発言も多くあり、今後の研修の推進にむけたきっかけをつかめたと感じている。

(4) 検証授業について

- ・今年度はコロナウイルス感染症対策のため、未実施。

(5) 指導案バンクの作成について

- ・作成に向けて、指導案バンクのあり方の方向性を話し合い、現在、利用開始に向けて、調整を進めている。

Ⅲ. 研究の成果と課題

<学習指導（授業づくり）>

- 1 単位時間の課題解決型の授業づくりについて、説明により理解を深めたのち、実際に指導案づくりを行ったことで、授業づくりのイメージをより明確にできた。
- 学級の実態にあった授業づくりについて、学習規律の側面から迫ることができた。また、指導と評価について、子どもを見取る視点から理解を深めることができた。

<学習指導（授業改善）>

- 主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善の13の視点を提示し「板書型指導案」と具体的な教師の手立てを提案できた。
- 自分の授業実践を見直す「チェックリスト」を提案し、授業改善に有効なものになった。

<校内研修>

- 当センター初の試みである、オンラインでの実施であった。
- 演習では、参加者の先生同士で課題や悩みに対する取組などを交流することで、解決や改善の糸口をつかむことができた。

後志管内各校の
OJTに寄与できる
研修センターを目指して…

令和4年度後志教育研修センター 調査研究事業報告会

学習指導調査研究委員会

ご静聴ありがとうございました。



令和4年1月12日

於：後志教育研修センター